2024年度ジュニア強化選手選考会開催要項

1. 開催期日

2024年4月26日(金)「カデット女子組手」「ジュニア女子組手」 4月27日(土)「カデット男子組手」「ジュニア男子組手」 4月28日(日)「男女個人形」「男女団体形」 ※申込人数によって受付時間を決定します。受付終了後に JKFホームページでスケジュールを公表します。

2. 開催場所

日本空手道会館

住 所:〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 交 通:東京メトロ有楽町線辰巳駅1番出口より徒歩5分

3. 選考会参加資格

【全カテゴリー共通必須事項】

- 1、 2023年度に引き続き2024年度も本連盟の会員登録を継続する 意思がある者
- 2、全空連公認段位(初段以上)を取得している者

A. カデットカテゴリー

1、参加資格

2024年10月9日の時点で14歳~15歳で、次の(1)~(6)のいずれかを満たす者。

- (1) 2023年全空連ジュニア強化選手
- (2) 令和5年度第31回全国中学生空手道選手権大会の個人形5位・個人組 手5位までの入賞者
- (3) 令和5年度第31回全国中学生空手道選手権大会の団体組手3位までの学校で監督推薦の者(1名・年齢でカデットかジュニアどちらか1名)
- (4) 選手強化委員会が推薦した者
- (5) 令和5年度第18回全国中学生空手道選抜大会の個人形5位・個人組手 5位までの入賞者
- (6)各地区協議会から次表の基準に基づいて推薦された者(各地区協議会は、 次表「カデット」に該当する組手18名(各階級最大2名)および個人形 男女各3名を推薦することができる。)

	カデット	地区協議会	
	10名(各階級		
-52 kg#	最大 <u>2名</u> まで)		
	8名(各階級		
- 4	最大 <u>2名</u> まで)		
	3名		
女子個人形		3 名	
推薦基準	※2023年度地区協議会の大会において優勝、準優勝、もしく 成績を収めた者。	くはこれに準ずる	

2、参加申込方法

- ①参加資格の(1)~(4)に該当する者本連盟から郵送した申込書に必要事項を記載し本連盟に返送、また本連盟に参加料を振込むこと。
- ②参加資格の(5)に該当する者 当該大会会場において申込書類を渡すので、大会終了後必要書類を速 やかに全空連宛に送付、また本連盟に参加料を振込むこと。
- ③参加資格の(6)に該当する者 地区協議会経由で申し込み、また地区協議会経由で参加料を支払うこ と。

B. ジュニアカテゴリー

- 1、参加資格
 - 2024年10月9日の時点で16歳~17歳で、次の(1)~(12)のいずれかを満たす者。
- (1) 2023年全空連ジュニア強化選手
- (2) 第51回全日本空手道選手権大会の個人形、個人組手5位までの入賞者
- (3) 第2回全日本体重別空手道選手権大会各階級3位までの入賞者
- (4) 令和5年度第31回全国中学生空手道選手権大会の個人組手5位・個人 形5位までの入賞者
- (5) 令和5年度第31回全国中学生空手道選手権大会の団体組手3位までの 学校で監督推薦の者(1名・年齢でカデットかジュニアどちらか1名)
- (6) 令和5年度第78回国民体育大会空手道競技の少年男女組手3位・少年 男女形3位までの入賞者
- (7) 選手強化委員会が推薦した者
- (8) 令和5年度第50回全国高等学校空手道選手権大会の個人形5位、個人 組手5位までの入賞者
- (9) 令和5年度第43回全国高等学校空手道選抜大会の個人形3位、個人組 手3位までの入賞者
- (10) 令和5年度第43回全国高等学校空手道選抜大会の団体組手3位まで の学校で監督推薦の者(1名)
- (11) 令和5年度第43回全国高等学校空手道選抜大会個人形・個人組手推 薦出場者
- (12)高体連一次選考会で選出された者。

カテゴリー	ジュニア		
性別	男子	女子	
組手	-55kg級、-61kg級 -68kg級、-76kg級 +76kg級	-48kg級、-53kg級 -59kg級、-66kg級 +66kg級	
形	個人形	個人形	

2、参加申込方法

- ①参加資格の(1)~(7)に該当する者本連盟から郵送した申込書に必要事項を記載し本連盟に返送、また本連盟に参加料を振込むこと。
- ②参加資格の(8)~(12)に該当する者 全国高体連空手道専門部経由で申し込み、また全国高体連空手道専門 部経由で参加料を支払うこと。

C. 団体形

1、参加資格

2024年10月9日の時点でチーム全員が14歳~17歳で、次のいずれかを満たす者(メンバーは3名のみ・補欠はなし)。

- (1) 令和5年度第43回全国高等学校空手道選抜大会の団体形5位までの入 賞チーム
- (2) 高体連一次選考会で選出されたチーム
- (3) 令和5年度第31回全国中学生空手道選手権大会の団体形優勝チーム
 - 2、参加申込方法
 - ①参加資格の(1)、(2) に該当するチーム 全国高体連空手道専門部経由で申し込み、また全国高体連空手道専門 部経由で参加料を振込むこと。
 - ②参加資格の(3)に該当するチーム 本連盟から郵送した申込書に必要事項を記載し本連盟に返送、また本 連盟に参加料を振込むこと。
- 4. 選考会免除選手 今年度は免除選手はない。
- 5. 選考基準について 別紙「選考基準について」を参照のこと。
- 6. 選考結果について

後日、本連盟ホームページにて公表する。

※選考は行うがナショナルチームとして該当選手、チームがいない場合は 選考しないこともある。

7. 申込方法

上記記載の各カテゴリー別の開催要項の参加申込方法を確認してください。 申し込みは所定の「参加申込書」による。

- (1) 郵送・振込期限 2024年3月27日(水)必着
- (2)宛 先 (公財)全日本空手道連盟(企画業務課 担当小池) 〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
- 8. 参加費

個人組手・個人形: 1人5,000円

団体形: 1チーム2000円

※一旦納入した参加費は返却しません。

※振込先は別紙をご確認ください。

9. 旅費・宿泊費 自己負担とする。

10. 携 帯 品

- ①全空連会員証 ②健康保険証 ③空手着 ④赤帯・青帯・黒帯(黒帯は 形選手のみ) ⑤その他必要なもの
- ※組手選手は、安全具を各自で用意すること。

マウスピース (無色)、拳サポーター (WKF 認定品、赤・青)、セーフティーカップ (男子のみ)、チェストガード (WKF 認定品、女子のみ)、ボディプロテクター、シンガード・インステップガード (WKF 認定品、赤・青)

- ※カデット、ジュニアもマウスピースで実施します。
- ※拳サポーター、チェストガード、シンガード・インステップガードは WKF 認定品であること。ボディプロテクターは全空連または、WKF 認定品であること。高体連検定のシンガード、インステップガードは使用不可。

11. その他

- (1) 本選考会参加資格は、2024年度のみのものです。前年度や次年度の 参加基準とは異なります。
- (2) 参加選手は本連盟の負担により傷害保険に加入します。
- (3) 締切日以降に階級を変更することはできません。
- (4) 組手選手は受付時に計量を行います。計量は受付時間内に1回のみとし クリアできない場合は失格となります。許容範囲は男子選手は ± 0.200 kg、女子選手は ± 0.500 kgです。
- (5) 本選考会への参加にあたっては、保護者、部活動顧問等の適切な引率・ 監督に従い安全に十分配慮すること。なお引率者は各校1名のみとしま す。ただし引率者は選考会の見学はできません。
- (6) 参加選手は胸、袖、肩等に所属先名(学校名、所属先等)の刺繍・ワッペン等のない空手着を着用してください(氏名の刺繍は可)。刺繍・ワッペン等がある場合は白い布などを縫い付けて隠すこと。テーピングははがれるので禁止とします。
- (7) 本選考会に関する事務連絡、進行スケジュール、変更事項等は、本連盟 ホームページに掲載いたしますので随時確認してください。

以上

選考基準について

2024年選手強化計画内の「ナショナルチーム強化方針(以下)」に基づき、選手を選考する。

選考試合に勝っても下記に該当しない試合を行った選手、チームは選考をしない場合がある。

ナショナルチーム強化方針

日本代表選手は「強い空手」を目指す 「強い空手」を実現するために、豊富な練習とフィジカル強化の徹底を図り 自信を身に付ける

<組手>

- (1) 必ず勝という強い信念の下、得意とする技を自信を持って戦う姿勢を貫く。
- (2) 先の先の組手を心掛け、先取することを基本として積極的な試合展開をする。
- (3) 直線的攻撃力を最大限に強化し、かつ柔軟な対応力を磨く。
- (4) 日本人特有の正確な技、我慢強さを最大の武器として戦う。
- (5) 空手母国日本代表選手として誇りを持ち最後の最後まで「正々堂々」と戦う。

< 形>

- (1) 日本の強さ:伝統的な無駄のない動き、技術とフィジカルの融合
- (2) 立ち方の強さ:強さは土台から、強靭な下半身と体幹、上肢との一致
- (3) 日本代表としての自覚と覚悟を持つ: コントロール(感情の調整の仕方を知る) と一貫性(どんな状況でも自分を出せる)
- (4) 形(技)の理解度:空手の歴史、文化を学び、形(技)の意味を理解し演武に繋げる。
- (5) 上記(1) から(4) を強化し、全種目優勝を達成し世界の模範となる